

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 SCAR 小委員会
(第 24 期・第 1 回) 議事要旨

1. 期日

平成 30 年 4 月 24 日 (水) 10:30~12:00

2. 会場

日本学術会議 6-C(2)会議室

3. 出席状況

出席者：中村卓司、原田尚美、杉山慎（スカイプ）、石井守、榎本浩之、
道田豊、伊村智、橋田元

欠席者：小山内康人、野木義史

オブザーバー出席：鶴生川太郎、荻原裕之（木俣昌久代理）、楠勝浩

4. 議題

(1) 前回議事要旨(案)の確認

(2) 委員の交代について

- ・ 委員の互選により伊村委員を委員長に選出した。
- ・ 伊村委員長が幹事に橋田委員を指名し、了承された。

(3) 地球惑星科学委員会の構成についての紹介

- ・ IASC 小委員会と SCAR 小委員会が合併し、極域科学として分科会となる構想については、第 25 期以降に向けて検討を継続する。

(4) XXXV SCAR Biennial Meeting, SCAR/IASC OSC ダボスへの派遣について

- ・ XXXV SCAR Biennial Meeting, SCAR/IASC OSC (ダボス)、通称 Polar2018 には伊村委員長を派遣することを承認した。
- ・ SCAR 下部組織の動向について各委員から情報提供を受けた。

(5) 大型研究計画マスタープラン「極域科学のフロンティア」改訂について

- ・ 大型研究計画マスタープランは、179 件 (マスタープラン) →28 件 (重点計画) →7 件 (ロードマップ) の狭き門となったが、実際に学術フロンティア予算を獲得できたのは 1 件のみ。ランク付けは様々なメリットがあるので、評価を高めていくためのアクションについて意見交換を行った。

(6) 南極関連研究者・対応者の組織化について

- ・ 南極に関わる研究者や関係者のネットワーク強化に早急に取り組む。SCAR 関係の動きが分かるポータル作成等に取り組む。

(7) 意見交換

- ・ SCAR/OSC などでの若手の参加を増やす働きかけを行い、さらに SCAR 関係のサイエンスミーティングに出席して議論することをエンカレッジする。
- ・ 南極関連のアウトリーチとしては、中・高生と大学院生を対象としたイベントはあるが学部生対象が手薄。学部学生をターゲットにした取り組みも必要である。